



## 「きれいな環境を保たなくては、ゴミは捨てられる！」

### ポイ捨てしますか？心も捨てますか？

## 円城寺町内のゴミ一掃作戦を実施しました。



去る10月26日の日曜日は素晴らしい秋空でした。その空の下で名岐バイパスの堤防沿いや JR 東海道線の下トンネル付近、神明神社まわり、木曾川の堤防などの円城寺町内のゴミを拾いました。参加者は円城寺の町内の方(100名ほど)と「道徳のまち笠松推進会議」の委員の有志です。「ゴミのないきれいな笠松町にしよう。」と、8時にスタートしておよそ1時間、熱心にゴミ拾いをしました。拾ったゴミは円城寺の集会場などに集められました。(←左の写真)

道徳のまち推進会議の葛谷昌彦会長さんによると、「毎年ゴミ拾いを行っているけれど、なかなかゴミは減らないですね。」と言われました。確かにペットボトルや空き缶、一般ゴミが山のように集まりました。中には古タイヤやペンキの缶などの不法投棄物もかなりありました。(写真右下) もし、今回のゴミ一掃活動を行わなかったとしたら、きっとゴミはもっと捨てられることでしょうか。「みんながゴミを捨てているなら、自分もゴミを捨てていいか。」と思うのが人情です。このように汚い環境はゴミを捨てやすい気持ちを助長することにつながります。きれいな笠松町を創るためには、きれいな環境を整えることが大切です。町民一人一人が地域清掃に取り組み、きれいな笠松町が保たれることを心から願わずにはられません。

円城寺の服部一成町内  
会長さんのご挨拶↓



幼保、小中、高大学生の皆さんからボランティア体験を募集します。ぜひ、お寄せください。  
また、町内で「ちょっといい話」を小耳にはされましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただくと幸いです。記事にさせていただくことがあります。  
なお、この「ちょっといい話」は笠松町のホームページの「道徳のまち」のバナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233